

sp-17. フィボナッチ数

(Scheme プログラミング)

URL: https://www.kkaneko.jp/pro/scheme/index.html

金子邦彦





アウトライン



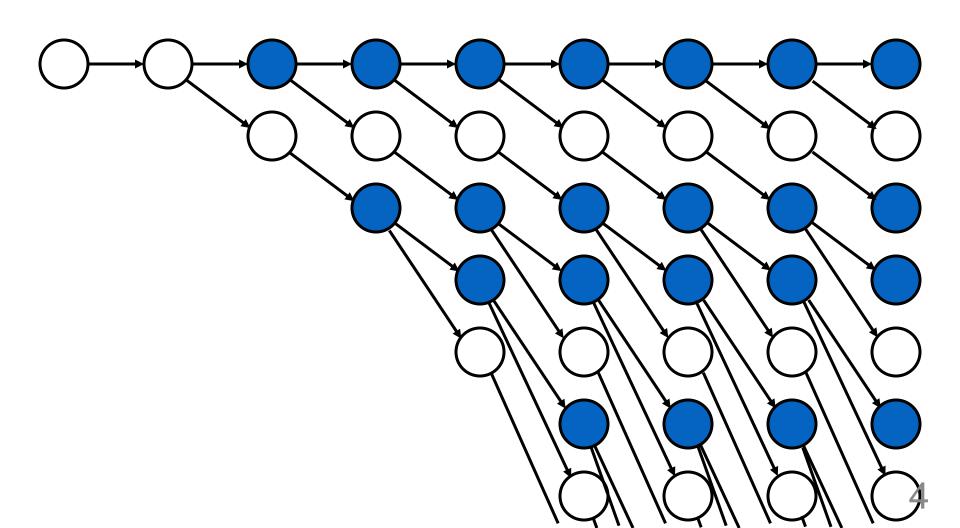
- 17-1 フィボナッチ数
- 17-2 パソコン演習
- 17-3 課題



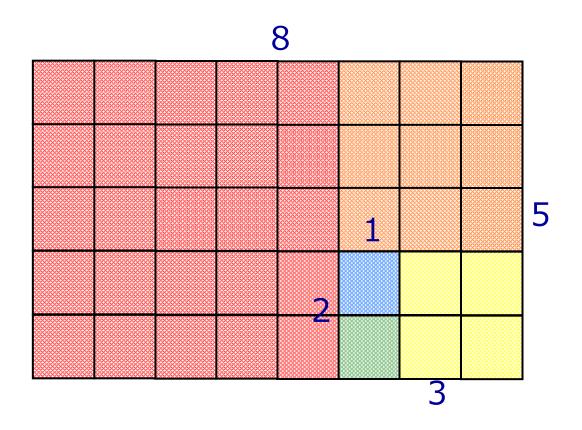
17-1 フィボナッチ数



1 1 2 3 5 8 13 21 34









生成的再帰(木構造再帰プロセス)の形で、フィボ ナッチ数

$$f_0=0,$$
 $f_1=1,$ $f_n=f_{n-1}+f_{n-2}(n>1)$ の i 番めの数 を計算するプログラムを作る f_i $0,1,1,2,3,5,8,13,21,34,55,89,144,....$



$$f_0 = 0,$$
 $f_1 = 1,$
 $f_n = f_{n-1} + f_{n-2} (n > 1)$



17-2 パソコン演習

パソコン演習の進め方



• 資料を見ながら、「例題」を行ってみる

• 各自, 「課題」に挑戦する

• 自分のペースで先に進んで構いません

DrScheme の使用



- DrScheme の起動 プログラム → PLT Scheme → DrScheme
- 今日の演習では「Intermediate Student」 に設定

Language

- → Choose Language
- → Intermediate Student
- → Execute ボタン

例題1. フィボナッチ数



生成的再帰(木構造再帰プロセス)の形で、フィボ ナッチ数

$$f_0=0,$$
 $f_1=1,$ $f_n=f_{n-1}+f_{n-2}(n>1)$ の i 番めの数 を計算するプログラムを作る f_i $0,1,1,2,3,5,8,13,21,34,55,89,144,....$

「例題1.フィボナッチ数」の手順



- 1. 次を「定義用ウインドウ」で,実行しなさい
 - 入力した後に, Execute ボタンを押す

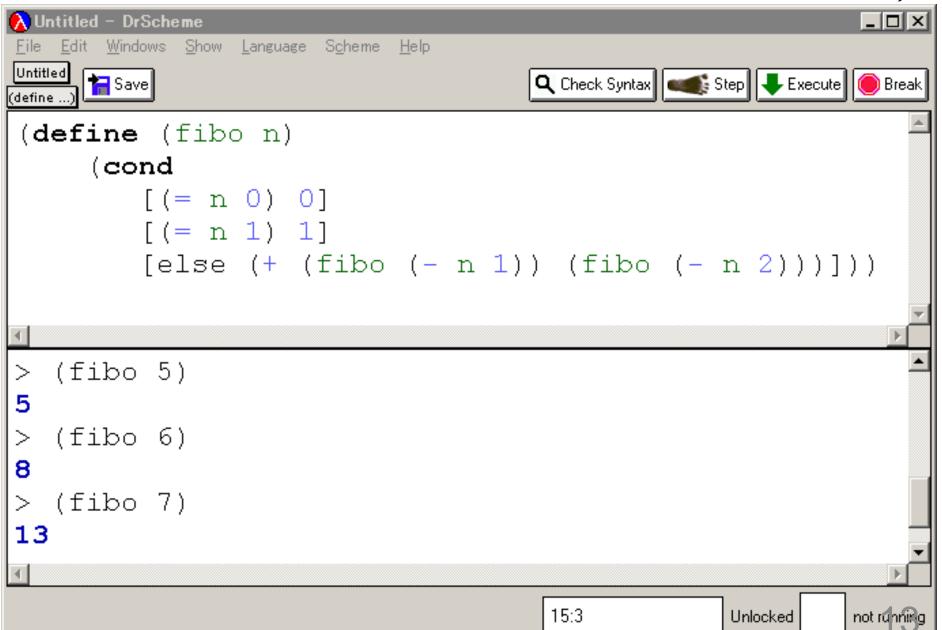
```
(define (fibo n)
  (cond
    [(= n 0) 0]
    [(= n 1) 1]
    [else (+ (fibo (- n 1)) (fibo (- n 2)))]))
```

2. その後, 次を「実行用ウインドウ」で実行しなさい

```
(fibo 5)
(fibo 6)
(fibo 7)
```

実行結果の例





入力と出力







```
(define (fibo n)
   (cond
     [(= n 0) 0]
     [(= n 1) 1]
     [else (+ (fibo (- n 1)) (fibo (- n 2)))]))
```



1. n = 0 ならば:

→ 終了条件

0

→ 自明な解

2. n = 1 ならば:

→ 終了条件

1

- → 自明な解
- 3. そうで無ければ:
 - (fibo (- n 2)) と (fibo (- n 1)) を足す
 - ⇒ 結局, fibo の実行を繰り返す

(fibo 4)から 3 が得られる過程の概略 (1/2)



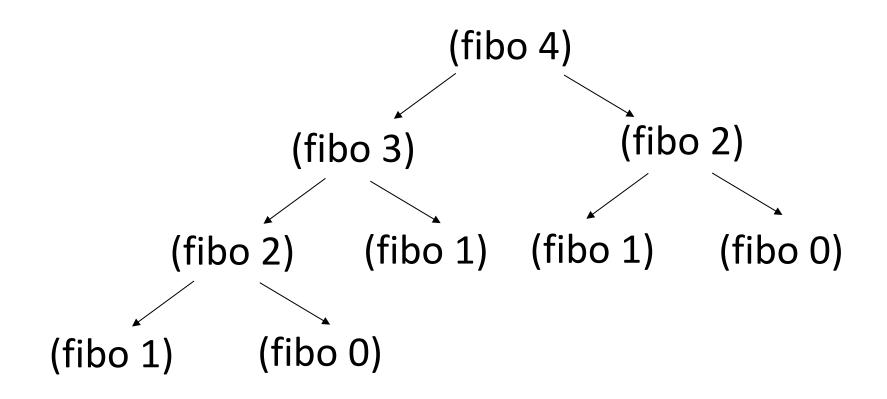
```
(fibo 4)
                            = (+ (+ (+
                                      (fibo (- 2 1))
                                       (fibo (- 2 2)))
= (+ (fibo (-41))
      (fibo (- 4 2)))
                                    (fibo (- 3 2)))
                                 (fibo (- 4 2)))
= (+ (+
                            = (+ (+ (+
         (fibo (- 3 1))
         (fibo (- 3 2)))
      (fibo (- 4 2)))
                                    (fibo (- 3 2)))
                                 (fibo (- 4 2)))
```

(fibo 4)から 3 が得られる過程の概略 (2/2)



```
=(+(+
                            = (+ 2)
                                  (+10))
      (fibo (- 4 2)))
                             = 3
= (+ 2)
         (fibo (- 2 1))
         (fibo (- 2
 2))))
```





fibo の計算パターンは、木構造再帰である



- 関数 fibo は, n > 1 のとき, fibo を2 回呼び出す
 - 例) (fibo 10) を計算するために (fibo 9) と (fibo 8) を計算している
- 計算パターンは,木構造再帰(tree recursion)をなす
 - 樹木状をなす (前ページ)

例題2.「反復的プロセス」での フィボナッチ数



フィボナッチ数

$$f_0 = 0,$$
 $f_1 = 1,$
 $f_n = f_{n-1} + f_{n-2} (n > 1)$

の i 番めの数 fi を計算するプログラムを作る

例題1よりも繰り返し回数が少なくなるよう に工夫する

「例題2. 反復的プロセスでのフィボナッチ数」の手順

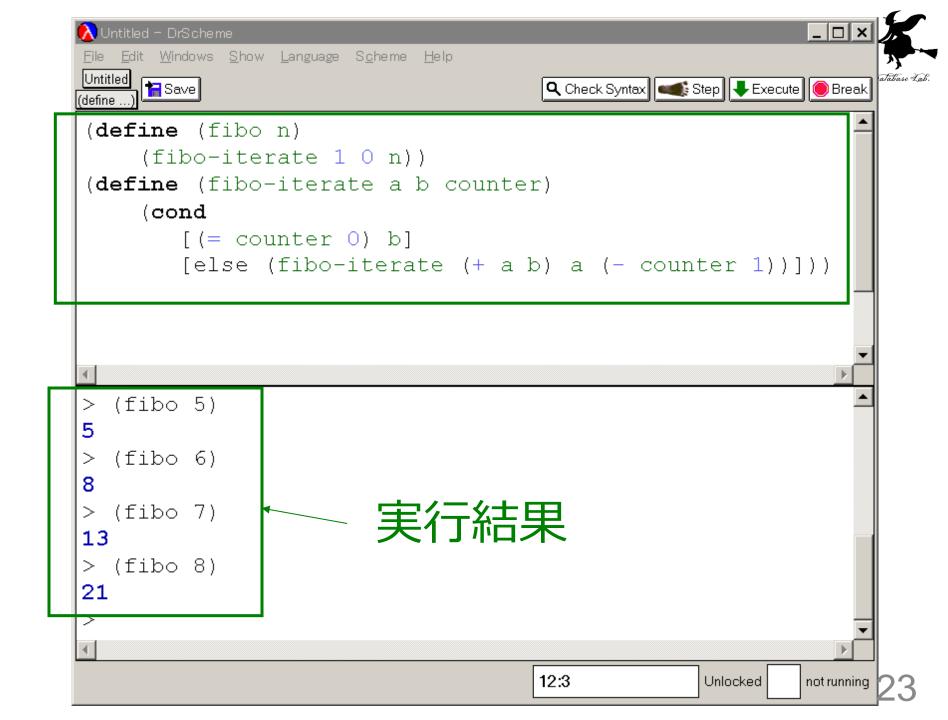


- 1. 次を「定義用ウインドウ」で、実行しなさい
 - 入力した後に、Execute ボタンを押す

```
(define (fibo n)
  (fibo-iterate 1 0 n))
(define (fibo-iterate a b counter)
  (cond
  [(= counter 0) b]
  [else (fibo-iterate (+ a b) a (- counter 1))]))
```

2. その後,次を「実行用ウインドウ」で実行しなさい

```
(fibo 5)
(fibo 6)
(fibo 7)
```



「反復的プロセス」でのフィボナッチ数



```
(define (fibo n)
  (fibo-iterate 1 0 n))
(define (fibo-iterate a b counter)
  (cond
    [(= counter 0) b]
    [else (fibo-iterate (+ a b) a (- counter 1))]))
```

「反復的プロセス」でのフィボナッチ数人

- 1. まず, f₁ (=1), f₀ (=0) から始める
- 2. 次に, f₀, f₁ を使って, f₂ を求める
- $3. \cdot \cdot \cdot$
- 4.nに達するまで続ける

「反復的プロセス」でのフィボナッチ数人



終了条件

(define (fibo-iterate a b counter)

```
(cond

[(= counter 0) b]

[else (fibo-iterate (+ a b) a (- counter 1))]))

b \leftarrow a
```

(fibo 4) から 3 が得られる過程の概略



```
(fibo 4)
= (fibo-iterate 1 0 4)
 (fibo-iterate 1 1 3)
 (fibo-iterate 2 1 2)
 (fibo-iterate 3 2 1)
   (fibo-iterate 5 3 0)
```

a, b, counter の 値が変化する

まとめ



• 例題 1

- 木構造的な再帰
- 計算が冗長
 例) (fibo 4) の計算では, (fibo 2), (fibo 1), (fibo 0) が 繰り返し現れる

• 例題 2

- 反復的プロセス
- 例題1ではあった「冗長な計算」が、例題2で無い



17-3 課題

課題1



- 例題1と例題2のフィボナッチ数のプログラムを,性 能の面から比較せよ
 - 例題1と例題2のプログラムについて, (fibo 6) を計算する ために, 例題1の fibo, 例題2の fibo-iterate が何回繰り返し 実行されるか数えよ
 - ・例題1と例題2のプログラムを, DrScheme のstepper で実行し, 最終的な結果が得られるまでに「next」ボタンを押した回数(置き換えが起こった回数)を数えてみよ
 - これは, (fibo 3), (fibo 4), (fibo 5), (fibo 6) について行え